

2月定例会常任委員会の審査(2月)

総務市民委員会

(条例2件、契約案1件、陳情1件)

【委員長】太田康彦 【副委員長】荻田丈仁

【委員】一条義浩、杉山 諭、関 明美、笹川朝子、望月 昇、小野泰正

●大型事業を進める際には地元下請け企業への配慮を

要望 総合体育館等整備・運営事業では、今回、2回目のインフレスライド^(*)を適用し、契約金額を変更前から5億3540万円余増の117億3588万円余にすることですが、多くの地元企業が下請けとして関わっている中、今回の変更契約を経てもコスト的に大変厳しい状況にあるとの

声も伺っているので、この事業に限らず、大型事業を進める際には下請企業の状況についても配慮してほしい。
※インフレスライド：予期することのできない特別の事情により、工期内に日本国内において急激なインフレーションまたはデフレーションが生じ、請負代金額が著しく不適当となったときに請負代金額の変更を請求することができる措置のこと。

福祉保健委員会

(条例1件)

【委員長】鈴木幸司 【副委員長】高橋正典

【委員】稻葉寿利、藤田哲哉、植松光徳、望月 徹、山下いづみ、福永意人

●救急医療業務手当の拡充による 支給額の見込みは

問 夜間や休日などの時間外の救急医療のうち、手術や入院を伴う看護業務に携わった助産師及び看護師に対して、救急医療業務手当を支給できるよう条例を改正することですが、実際に手当の支給額はどの程度増加すると見込んでいますか。

答 救急医療業務手当の拡充による増額分は、月額で200万円程度になると見込んでおり、手当の支給により労働環境の改善を図ることで、助産師及び看護師のモチベーションの向上につなげたいと考えています。

要望 助産師及び看護師の業務は多忙を極めているため、一人一人のフォローをしっかりと行い、働きやすい環境づくりに努めてください。

産業教育委員会

(請願1件)

【委員長】萩野基行 【副委員長】長谷川祐司

【委員】小池智明、新家大輔、石川浩司、市川真未、笠井 浩、佐野智昭

請願

ペット移動販売の禁止を求める意見書の提出を求める請願 【請願趣旨】

動物の福祉を守り、命の大切さを市民に伝えるため、悪質な販売方法を許すことのないよう、動物の愛護及び管理に関する法律において、ペット移動販売を禁止するよう求める意見書を、富士市議会から提出してほしい。

【審査結果】不採択

幼い動物を長距離輸送させることは動物の福祉に反するといった本請願の趣旨には同意できる

が、現時点での意見書案では把握できている状況と整合性が取れない点もあることから、そのまま提出することは適当でないと考えるため、本請願は不採択とすべきであるとの意見や、本請願をきっかけにペットの移動販売に対して問題意識を持つことができたため、請願者の意見を改めて聴取した上で、議員発議により意見書の提出を検討する方法もあるとの意見があり、本請願については不採択すべきものと決し、本会議において反対討論・賛成討論がありましたが、起立多数だったため委員長報告どおり不採択すべきものと決しました。

建設消防委員会

(その他1件)

【委員長】下田良秀 【副委員長】吉川隆之

【委員】川窪吉男、遠藤盛正、井出晴美、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

当委員会に付託となった議案1件については、当局の説明を受け、原案どおり可決しました。

市長施政方針に対する

各会派代表質問

会派の紹介	リスペクトふじ	心政富士	凜の会・公明党	民主ふじ	草の根ふじ	真政会
○次会派の構成者は ○は質問者です。	一条 義浩 ○下田 良秀 望月 昇 ○杉山 諭 ○笠井 浩 稲葉 寿利	小池 智明 川窪 吉男 ○高橋 正典 長谷川祐司 関 明美 太田 康彦	鈴木 幸司 佐野 智昭 井出 晴美 山下いづみ 小池 義治 ○遠藤 盛正	○植松 光徳 藤田 哲哉 萩野 基行 佐藤 菊乃 福永 意人 石川 浩司	○吉川 隆之 萩田 丈仁	新家 大輔

※会派代表質問(3月5日・6日)を行った
時点での会派の構成です。

※会派とは、
議会内において基本的な政策が、一致する議員3人以上により、結成された同志的集合体のことです。

発信力が弱いと言い続けられている中、 本市の事業をどのようにPRしていくか 心政富士

議員 本市の事業PRは、発信力が弱いと言い続けられている。伝えること、そして伝わることが重要であると考えるが、本市の事業を具体的にどのように情報発信していくのか。

市長 昨年12月に開催した高校生議会において、市政に関する情報を正確かつ確実に届けることの重要性を再認識した。

この課題を解決するためには、伝える対象を明確化し、どのような手法で行えば、伝えたい人たちに確実に情報が届くのかを意識しながら発信を行っていくことが重要であると考える。

情報発信の要となるウェブサイトは、見やすや分かりやすさに配慮するとともに、検索性を向上させ、目的ページにたどり着きやすくなるよう、本年5月のリニューアルに向け取り組んでいる。

また、ここ数年、文章よりも映像で伝えるほうが高い効果を期待できる傾向にあるため、可能な限り動画を作成して市公式ユーチューブにて発信しているので、今後はさらなる活用を図っていく。

「きちんと伝えること」を全庁的な課題として捉えているので、対象の明確化及び効果的な手法の選定ができるよう、職員向けの広報広聴に関するマニュアルに明記して周知徹底を図るとともに、中堅職員の研修に情報発信に関する内容を盛り込むなど、市職員の意識改革などを進めながら、情報発信に努めていく。

「北里アリーナ富士」のオープンに伴う 各種大会・イベントの具体的な計画内容を伺う 真政会

議員 新たな富士市の顔となる北里アリーナ富士のオープンに伴い、にぎわいや交流の拠点として、プロスポーツの公式戦をはじめとした各種大会・イベントを計画しているようだが、計画の具体的な内容を伺う。

市長 北里アリーナ富士のこけら落としには、市民の皆様がスポーツに気軽に触れ合えるよう、4月5日は市スポーツ協会の加盟団体による開館記念試合、4月6日には市民スポーツフェスティバルとして、スポーツの体験会やゲストを迎えて縄跳びやトランポリンのデモンストレーション等を

実施する。

また、4月19日、20日には、プロバスケットボールBリーグ最終戦、ベルテックス静岡対バンビシャス奈良の試合を行う。

このほかに、プロバスケットボールの公式戦が4試合、プロバレーボールの公式戦が6試合、アマチュアバスケットボールの全国大会が2回、卓球などの東海大会が5回、バドミントンやハンドボールなど50件の市民大会が予定されている。

プロチームの公式戦や全国規模の大会など、にぎわいや交流を目的としたイベントを開催していくとともに、多くの市民の皆様にも利用いただけるよう、開催時期や期間等を考慮しながら、バランスの取れた運営に努める。